

令和4年度 南薩保健医療圏域 医療・介護合同会議 開催報告

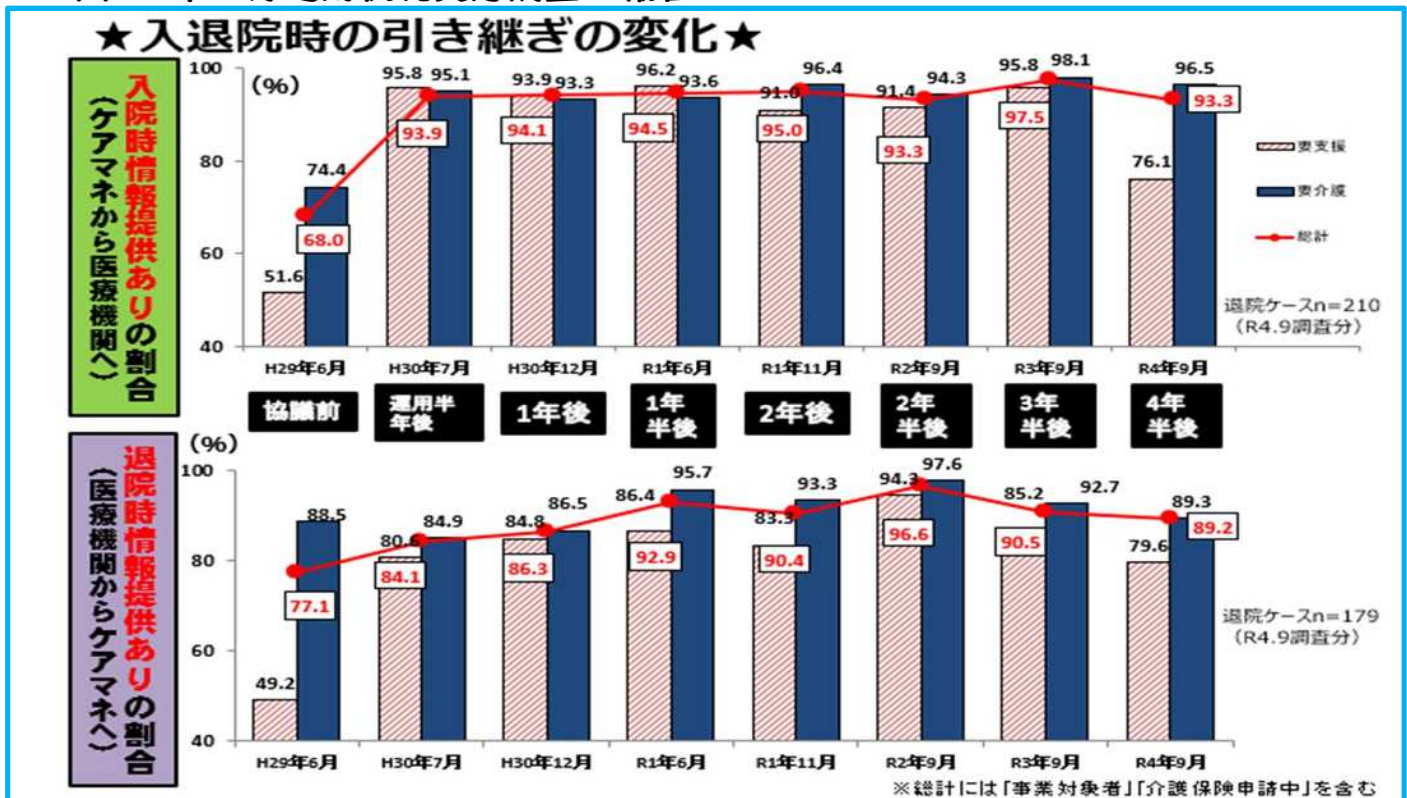
「南薩保健医療圏域入退院調整ルール」の運用状況を点検し、改善点等を検討するため、医療・介護合同会議を開催しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催としました。

時期	令和5年1月	対象機関	事業所 71機関，医療機関 43機関
方法	令和4年9月運用状況実態調査の報告等書類の送付 表決書の提出依頼		
内容	送付書類 (1)令和3年度メンテナンス会議の振り返り (2)介護支援専門員・参加医療機関運用状況実態調査報告(令和4年9月分調査) (3)参考資料(令和3年度医療介護合同会議グループワーク時の資料) 表決書 (1)実態調査報告の承認について (2)「提供シート」について (3)入院中に患者が新型コロナウイルス感染症に感染した際の連絡について (4)ACPの普及啓発について		



1. 令和4年9月運用状況実態調査の報告

※調査用紙の回収率:事業所100%,医療機関97%



入退院時どちらもつなぎ漏れが増えていました。

- ◎入院時 (ケアマネ→医療機関) の引継ぎ率は、**90%以上をキープ** していました。ケアマネから医療機関への引継ぎは、入院3日以内に**89.5%**が行われています。入退院調整ルールでは、入院後3日以内の情報提供を目安としています。
- ◎退院前 (医療機関→ケアマネ) の引継ぎ率は、約4年ぶりに**90%を下回**っていました。退院7日以上前に連絡した割合は、**32.9%**と**1.9ポイント増加**しましたが、当日や退院後に連絡した割合が、昨年度より**10人増加**しています。大体でも**退院が決まったら連絡**をお願いします。

★南薩地域振興局ホームページ内に南薩保健医療圏域入退院調整ルールを掲載しています。
 【掲載内容】様式1「入院時情報提供シート」、様式2「退院支援情報共有シート」、参加医療機関の窓口
 ・令和4年度医療・介護合同会議資料、これまでのメンテナンス会議のまとめ 等

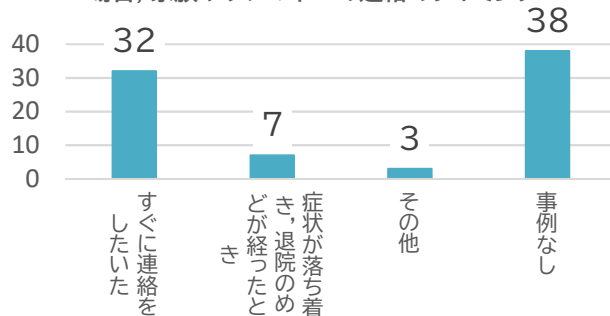
2.書面開催の結果から

①入院中に患者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の家族やケアマネへの連絡について

【医療機関の意見】

- ・状況に応じて対応
- ・退院のめどが立ったときは遅いので、状態が落ち着いた時で良いと思う。
- ・相談員により若干時間差があり早めに連絡するようにした。
- ・家族には医師・師長から連絡する。
- ・家族にはすぐ連絡したが、ケアマネにはしなかった。
- ・退院前には伝えると思う。
- ・事例はないが、感染した場合はすぐに連絡するように計画している。

入院中に患者が新型コロナウイルスに感染した場合、家族やケアマネへの連絡のタイミング



②ACP (Advance Care Planning) の普及啓発について、取り組んでいること

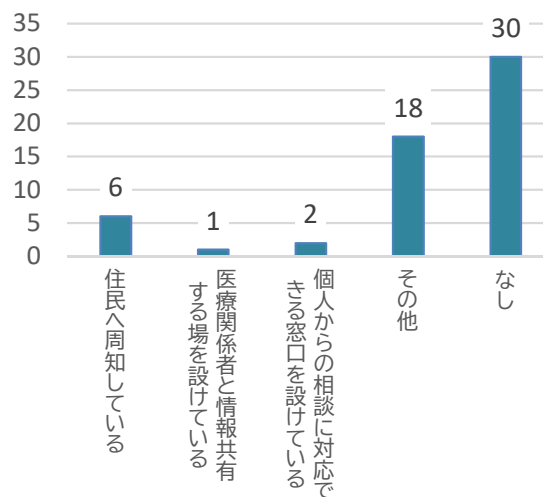
【事業所側】

- ・専門職向け研修を行っている。
- ・事業所内で協議中。
- ・モニタリング訪問等で、タイミングをみて話をすることが多い。
- ・モニタリング訪問等時、本人や家族の理解度に合わせて進めている。
- ・ケースによって訪問看護と連携している。
- ・利用者・家族へその都度説明している。
- ・本人や家族の意向を確認しながら、事業所又は法人で合同カンファを行っている。
- ・窓口は設けていないが、常に相談の対応は行っている。
- ・相談があった場合、対応できるように事業所で勉強会を行っている。

【医療機関側】

- ・今後のことも考えていくことが必要になっている事を面談中に説明している。
- ・入院時に、終末期の治療の意思確認を行っている。急変時には、蘇生治療の再確認を行っている。

ACPの普及啓発について取り組んでいること



※事業参加医療機関は43か所です(令和4年9月未現在)

【枕崎市】

ウエルフェア九州病院、尾辻病院、小原病院、久木田整形外科病院、サザン・リージョン病院、立神リハビリテーション温泉病院、枕崎市立病院

【指宿市】

今林整形外科病院、赤崎病院、伊藤記念病院、指宿浩然会病院、指宿さがら病院、指宿竹元病院、指宿医療センター、西田病院、山川病院、生駒外科医院、指宿脳神経外科、上村内科クリニック、開聞クリニック、木之下クリニック、肥後内科クリニック

【南さつま市】

阿多病院、有馬病院、加世田病院、県立薩南病院、真愛病院、南さつま市立坊津病院、南さつま中央病院、アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町、小山クリニック、徳久整形外科、友松内科クリニック、宮内クリニック、唐仁原内科クリニック

【南九州市】

川辺生協病院、菊野病院、こだま病院、中村温泉病院、南薩ケアほすびたる、南九州さくら病院、笹川医院、青木医院



これからも、メンテナンス協議を続けていきましょう！住民が地域や家庭で生きがいを持って、すこやかに安心して暮らせるよう、入退院調整ルールを運用し、切れ目ない支援をしていきましょう！